

【学校教育目標】

「だれひとり取り残さない進路・学力保障の創造

～継承・発展・創造の9年間の実現をめざして～

【めざす生徒像】…「自立」「共生」「創造」をキーワードに、これからの時代を生き抜いていこうとする生徒

予測が困難とされる時代において、直面する課題に主体的に対応していく力を育むとともに、
他者との関わりの中で、共に支え合って新しい社会を創造していく力を育む。

- 教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする生徒（リテラシー）
- 自分のくらしを見つめ、自分をとりまく人々の願いを受けとめ、生活を高めていこうとする生徒（エンパワメント）
- 多様なモデルとの出会いや体験活動を通して、自分の将来を思い描き、進路を選択しようとする生徒（キャリアデザイン）
- くらしの交流を通して、なかまとの絆を深めようとする生徒（なかまづくり・学級集団づくり）

【重点目標】

(1) 学力 ～ リテラシーの力 ～

①各授業で「ふりかえり」を意識したタイムマネジメントや、各教科における言語活動を充実させ、主体的に粘り強く学ぶ意欲・態度を育成します。

ア)授業が「わかりやすく楽しい」とする生徒90%をめざします。

イ)「授業で、自分の考えを持ち、グループや全体の場面で伝え合い、考えを深める機会が多い」と感じる子ども90%をめざします。

ウ)「毎日の家庭学習で、目標時間を達成することができた」子ども50%をめざします（目標時間は120分以上とする。）

(2) 人権 ～ エンパワメントの力 ～

②生活綴り方による一枚文集の作成を通して、自分のくらしやなかまの姿に目を向ける子どもを育てます。（50号以上）

③人権・部落問題学習で学んだことを自分のくらしや家族、なかまとの関係や自分の将来と結びつけて考えることができる子ども90%をめざします。

④なかまが「くらし」や「自分のこと」を語ったことに対して、自分のことと重ねて考えることができる生徒90%をめざします。

(3) キャリア ～ キャリアデザインの力 ～

⑤キャリアデザインの取組と人権・部落問題学習の結合をめざします。

ア)キャリアデザインの中小の連続性を意識した中1での取組を充実させます。（目標値90%）

イ)中2の「職業体験学習」において「自分の生活課題を意識してとりくめた」と語れる生徒90%をめざします。

ウ)中3時に、「今の自分が目指す将来のために、この進路に決めた」とクラスで語れる子ども90%をめざします。

(4) 「なかまづくり・学級集団づくり」

⑥一枚文集を読み合い、くらしの交流を通して互いを知り合い、一人ひとりの居場所づくりにつとめます。

⑦なかまの気持ちを考え、その気持ちに自分の経験や考えを重ねて返したり、発言したりすることができたという実感を持つ子ども90%をめざします。

(5) 「人権が大事にされる学校づくり」

⑧「学校へ行くのが楽しい」とする生徒90%をめざします。

⑨柘植保・柘植小との連携を深め、「人権教育カリキュラム」の検証を通してその精度を高めめます。

(6) 「働きやすい職場環境づくり」

⑩「協力・協働のとりくみを通して、『チーム柘植中』を意識して学校づくりに参画した」と言える教職員80%をめざします。

⑪「心身ともに健康で職務を遂行するため、超難業務の縮減に努めた」と言える教職員80%をめざします。

子ども・保護者・地域・学校に関わるすべての人

